

第31回全日本少年サッカー大会 大阪府大会

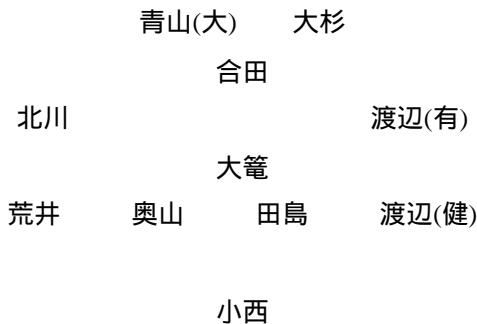
Aブロック 2回戦

日時 5/20 場所 千島公園G

U-12-TOP メンバー

学年	背番号	POS	名前
6	1	GK	小西
6	2	DF	渡辺(健)
6	3	DF	田島
6	4	DF	奥山
6	10	FW	青山(大)
6	11	FW	中西
6	12	MF	中條
6	14	MF	長岡
6	15	MF	吉川
5	5	DF	荒井
5	6	MF	大篠
5	7	MF	合田
5	8	MF	北川
4	9	FW	大杉
4	13	GK	青山(和)
4	16	MF	塩湯
4	17	MF	渡辺(有)
4	18	MF	長谷川

システム(4-4-2)



ゲーム結果

南山本U-12 VS エルマーJSC

スコア 0 - 1

交替 後半0分 小西 青山(和)
後半15分 渡辺(有) 塩湯

戦況分析

エルマーJSC

個人の運動能力、1対1の攻防、ルーズボールへの対応において、JSCを上回っており終始押される状況。

U-12

前半、右サイドからの攻撃でチャンスを作る。合田・渡辺(有)で右サイドでの攻防に競り勝つ場面を作るが、得点できず。後半は、大杉・北川が起点となる場面があったが、チームとして攻撃のために押し上げることができなかったため、厚みがなかった。

感想

自分のチーム・メンバーを自分達で動かせない、自分達の思いをプレーに表現できなかった選手達が、やっとチームとして纏まり、勝利のために18名全員が戦った結果でした。彼らの今できる最高のパフォーマンスだったと思います。

試合後の彼らの行動が、忘れられない光景となりました。「全てを出し尽くした」という表情の数々、入部間もない選手の涙、負傷した選手をピッチに立てなかった選手が我先にサポートする様子…。

このTOPチームメンバー18人は3学年から構成されています。6年が後輩を思いやり、引っ張る。下学年は、それを学び、次に引き継ぐことができる。これが南山本ジュニアコンセプトの意義です。それを形に表現できました。そしてこれから更に選手達は進化させてくれることだと思います。

選手達がスタンドに向かい、保護者の皆様に挨拶をした時、とても大きな拍手をいただきました。選手達は、とてもうれしかったと思います。我々指導者が選手達に体験させたいことが、保護者の皆様見てもらいたいことが、正確に伝わったと確信しました。

このTOPチームを育成するには、保護者の皆様の協力なくては成し遂げられません。3学年の保護者の皆様が共通理解をもって連携し、JSCをサポートできているからこそ、今回のような結果を得ることができました。本当にありがとうございます。

この試合を終えて、これまでのプロセスを振り返りました。選手達がわずか数ヶ月で成長し、今大会では、我々が選手に課題としていたことは、ほぼクリアしました。我々の指導の質が、まだまだ足りないことによる敗退であったことを認識してはいけません。もともとの育成のプランが遅れたことは大きかったと思います。

運営管理をしっかりとしなければ、選手の良さを引き出す時間を失うことを再認識しました。反省点です。

選手以上に我々が能力を高める努力をしなくてはいけません。

次は選手達と保護者の皆様に、勝利する感動を届けられるように。